

## 日本情報考古学会第 45 回大会プログラムと大会参加の受付

日本情報考古学会第 45 回大会を下記の要領で開催いたします。意義ある大会としたいと考えておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

第 45 回大会実行委員会

【開催日】 2021 年 10 月 30 日(土)・31 日(日)

【実施形式】 オンライン

\*研究発表は LINCBiz によるシステムを利用いたします(一部 Zoom 併用)。

研究発表は高機能の「オンラインポスターセッション」形式で実施します。操作は容易ですので、積極的にご参加ください。参加者は自由にすべての発表にチャット形式でやり取りができ、見ることができます。

責任発表時間以外にも書き込みや閲覧はできますので、当日は時間に制約なくご利用いただけます。お仕事等で時間が合わない方も奮ってご参加ください。

\*\*特別講演は Zoom を使用いたします。

【参加条件】 今回は、会員／非会員にかかわらず参加できます。参加ご希望の方は下記フォームからお申し込みいただく必要があります。LINCBiz と Zoom の招待メールをお送りいたします。

【大会への参加方法(事前申し込み制・無料)】

今大会は発表者／参加者ともに参加費無料とします。ネットによる簡単な事前申し込みが必要です。下記フォームからお申し込みください。受付締切は 10 月 29 日 15:00 とします。申込者には 29 日夕刻～夜に招待メールをお送りします。

参加申し込みフォーム <https://forms.gle/pLQz48NSYamvHGmR8>

### 大会当日の流れ

(前日 10/29 夜から LINCBiz の閲覧・書き込み等が可能です。)

#### 10 月 30 日(土) 13:00 開会

13:00～ 開会挨拶 会長植木武 Zoom 使用

13:05～ 事務局からのご案内 Zoom 使用

13:10～14:10 特別講演 Zoom 使用

14:30～15:30 研究発表責任発表時間1 LINCBiz 使用

(責任発表時間終了後も LINCBiz の閲覧・書き込み等が可能です。)

#### 10 月 31 日(日)

(引き続き LINCBiz の閲覧・書き込み等が可能です。)

10:00～ 2 日目開催 事務局からのご案内 Zoom 使用

10:10～10:30 研究発表 13 の Zoom 発表

10:30～10:50 研究発表 14 の Zoom 発表

10:50～11:10 研究発表 15 の Zoom 発表

11:10～ 事務局連絡等

13:00～14:00 研究発表責任発表時間2 LINCBiz を使用

(責任発表時間終了後も LINCBiz の閲覧・書き込み等は可能です。)

14:50～15:00 まとめと挨拶 Zoom を使用

(LINCBiz は 31 日 23:00 までの予定です。)

※責任発表時間1と2は、発表者の都合で責任発表時間1と2のいずれかの時間帯だけとなる発表があります。研究発表は、発表者の好意で前日(10/29 夜)から質問等のチャットでのやり取りを開始できるものがあります。書き込みの終了については 31 日 23:00 までとする予定です(ただし、責任発表時間外の質問等には必ずしも回答があるとは限りませんのでご了承ください)。参加者におかれましては、自由な時間に書き込みができるチャット利用のメリットを最大に活かして、質問や意見交換など対話を進めていただければと存じます。

## 発表一覧

発表タイトル	発表者 (*は発表代表者)	所属
<b>考古学情報の今と未来</b>		
1 埋蔵文化財発掘調査現場におけるデジタル化を考える	野口 淳*	フリーランス考古学者
2 文化財×Wikipedia—地域における考古学・文化財情報発信の方法として—	野口 淳*, 青木和人, 荒井翔平, 高田祐一, 三好清超, 大矢祐司, 木村 聡	奈良文化財研究所客員研究員, あおきGIS・オープンデータ研究所, 東京薬科大学, 奈良文化財研究所, 飛騨市教育委員会, 松原市教育委員会, 沼津市教育委員会
3 「悉皆的 3D 発掘」および「ペーパーレス発掘」の試みと検討—鹿児島県三島村黒島大里遺跡の調査の事例から—	中園 聡*, 太郎良真妃, 平川ひろみ, 遠矢大士	鹿児島国際大学, 同, 奈良文化財研究所/鹿児島国際大学, 鹿児島国際大学
4 土器作りにおける身体を介した「心とモノ」の連関研究に向けて	松本直子*, 平川ひろみ, 太郎良真妃, 中園 聡	岡山大学 文明動態学研究所, 奈良文化財研究所/鹿児島国際大学, 鹿児島国際大学, 同
<b>3D 技術と可視化・記録・活用</b>		
5 3D 計測による土偶研究のための基礎的検討	松本直子*, 太郎良真妃	岡山大学 文明動態学研究所, 鹿児島国際大学
6 地理情報を利用した歴史情報の可視化による再検討—美濃山中を事例に—	木村寛之*, 飯沼暢康, 島崎圭二, 大迫賢一	関ヶ原町歴史民俗学習館サポータ「不破ふわ塾」
7 3D デジタル技術等の多角的応用による土器製作者の動的身体技法復元のための基礎研究—概要—	平川ひろみ	奈良文化財研究所/鹿児島国際大学
8 ありふれた遺物の三次元計測・記録の実践(2)	太郎良真妃*, 中園 聡	鹿児島国際大学, 同
9 龍鱗・鱗文様のある粉青沙器について—鹿児島県日置市—宇治城跡出土資料の検討とその意義—	下小牧 潤	日置市教育委員会/鹿児島国際大学大学院

## パブリックアーケオロジと考古学者の考古学—メタアーケオロジ—

- 
- 10 地域の「見慣れた」石造物の清掃・調査・3D計測—三島村黒島大里地区の仁王像と住民— 平川ひろみ\*, 久保田千仁, 奈良文化財研究所/鹿児島国際大学, 新村詩織, 太郎良真妃, 中園 聡 鹿児島国際大学, 同, 同, 同
- 
- 11 刻線文様に着目したナスカ 1 様式土器の典型性評価—考古学者の分類特性— 時津裕子 徳山大学
- 
- 12 考古学者によるナスカ土器のカテゴリ—ゴリー判別—ナスカ 1 様式 cuenco と plato を事例として— 時津裕子 徳山大学
- 

### 情報考古学と調査手法 (以下は Zoom 発表+LINCBiz)

- 
- 13 考古地磁気を用いた杉並区向ノ原遺跡の炉穴の研究 (Zoom 10/3110:10~) 菅頭明日香\*, 泉 吉紀, 酒井英男, 合田恵美子 青山学院大学, サレジオ工業高等専門学校, 富山大学, 東京都埋蔵文化財センター
- 
- 14 古墳の鉄製副葬品の検出における非破壊のレーダ・磁気探査の有効性の検討 (Zoom 10/3110:30~) 酒井英男, 野村成宏\*, 泉 吉紀, 竜田尚樹 富山大学, (株)田中地質コンサルタント, サレジオ工業高等専門学校, 富山大学
- 
- 15 青銅の磁化—微量不純物の研究— (Zoom 10/3110:50~) 酒井英男\*, 菅頭明日香, 山元一広, 桑井智彦 富山大学, 青山学院大学, 富山大学, 同
- 

### オンライン特別講演

#### 3学派考古理論とその比較(後半)

#### —Processual Archaeology vs. Post-Processual Archaeology

植木 武先生(共立学園名誉教授・本学会会長)

10月30日(土) 13:10~14:10

【実施形式】Zoomによるオンライン特別講演

※上記の大会参加申し込みフォームにご登録いただく必要があります。登録者全員に Zoom の招待をお送りいたします。